

市長と市民の車座会議 「やっくんぼらん」(平成30年度 市政懇談会)のまとめ

【問合せ】秘書広報課 秘書広報班
☎77316658

平成30年度の市政懇談会は、4月23日(月)～6月27日(水)に市内17会場で開催し、351人に参加いただきました。

今年度は、市長による市政全般の説明と意見交換を行いました。

また、昨年引き続き託児所のある会場を用意したり、日中の開催を行いました。

各会場でいただいた意見や質問の中から、いくつかを要約してご紹介します。この他にいただいた質問や意見も、今後の市政に反映していきます。

参加いただき、ありがとうございました。



保健・医療・福祉

Q. 雨天時など、子どもが室内で遊べる場所はないか？他市の施設に毎回行くことは難しい。転居してきたばかりで、市内の施設がよくわかっていない。

A. イオン六日町店専門店館1階にある子育ての駅「ほのぼの」をご利用ください。乳幼児から小学3年生までの児童と保護者が利用できます。南魚沼市トレーニングセンター(「下一日市」)もご利用ください。

Q. 最近、児童虐待事件についての報道をよく見る。成長発達に影響を及ぼすような児童虐待の事案が、市にもあるか？

A. 虐待の可能性がある家庭は、存在すると考えます。いつ起こるかわからないのが現状です。

市では、福祉保健部や教育委員会などの部署が児童相談所、警察などと連携して対応していく体制を整えています。常に気を配り、積極的に関わっていきたいと考えます。

教育・文化

Q. 不登校の人へ適切な時期に支援ができれば、ひきこもりや精神疾患を予防でき、自立した生活が送れるようになるのではないか。不

登校以外でも支援を必要としている人はいるが、守秘義務の関係もあり、周囲に気づかれにくい。子ども・若者育成支援センターなどが行う事業をもっと周知していただきたい。

A. 不登校などに対する相談・支援事業については、積極的に周知しながら実施していかねければならないと考えています。

この地の地域性もあり、不登校やひきこもりを表に出さない傾向にあります。誰もがなりうる一時的な状態であることを、みなさんから理解いただき、当事者や家族が子ども・若者育成支援センターなどの相談・支援機関につながりやすい社会にしていくための周知も大切だと考えています。

環境共生

Q. 新しいごみ処理施設について。

A. 国際大学地内の建設に不安を感じている市民は多い。建設に関連し、まちづくりビジョンの再構築などどのようなように考えているか。

A. 市ではこれまでに、22会場(8月1日現在)で説明会を実施しました。地域住民からは、主に安全性の問題、交通量の増加、風評被害といった不安が挙げられています。また、説明だけでは拭えない

不安を少しでも解消できるように希望する地域住民に向けて実際に稼働している市外の施設見学を実施し、地域の声や安全性などを実際に見聞していただきました。今後地域住民の意見を聞き、理解を得られるよう説明会などを続けていきます。

まちづくりに関しては、市外の施設を参考に、景観や地域住民の要望に配慮した施設となるよう計画していきます。

都市基盤

Q. 高齢者が増え、免許のない人が増えていく。市民バスは使いにくく、このままでは買い物難民が増えてしまう。集落単位で何か対策を考えてみてはどうか。

A. 今後、高齢者が多くなるなかで、市民バスの路線などについては早急な対応が必要だと考えています。

また、地域づくり協議会を中心に、どのような対応が可能か検討していきます。

産業振興

Q. 兼続公まつりはだんだんと先細りになっていくような気がします。観光事業についても同じような気がします。他の地域から人を